

# 祝 一般社団法人全国肥料商連合会始動

1月19日、東京ガーデンパレスホテルで全国肥料商連合会の解散総会・一般社団法人全国肥料商連合会の設立総会が開催された。昨年9月17日、同ホテルで第55回全国肥料商連合会総会が開催され、従来の任意団体から法人格を持つ一般社団法人に組織変革を行い、事業活動を高め、財務の健全性を保つ為の本部人事の刷新等の議案が可決承認された事を受け、今回の解散総会・設立総会開催の運びとなった。

解散総会は、上杉議長より 全国肥料商連合会並びに全国農業技術員会協議会の解散報告、

任意団体の会員組織から一般社団法人全国肥料商連合会への移行、 任意団体の財産を一般

社団法人全国肥料商連合会へ入会金として拠出する等の3議案が上程され、事務局からの詳細な説明を受け、3議案共に可決承認された。全国肥料商連合会の上杉会長、全国農業技術員会協議会の野矢会長より、長年に亘る会員の協力に感謝の意が述べられた。事務局からは、昭和30年に創設され56年の歴史を閉じる連合会、昭和47年に創設され39年の歴史を閉じる農技協議会の歴史を振り返りつつ、歴代会長・歴代協議会長の紹介があった。その後、来賓の第7代会長 森田弘様より長年の歴史を振り返り心温まるお言葉と、新生なる連合会に熱きエールを述べられた。昼食時の理事会を挟み、引き続き設立総会が開催された。理事会で会長に就任した上杉議長より、設立趣旨の承認、社員の確認、定款の報告、財産目録の承認、初年度事業計画及び収支予算の承認、事務所の決定の6議案が上程され、承認可決された。ここに一般社団法人全国肥料商連合会が誕生・始動する事となった。



## 一般社団法人全国肥料商連合会活動方針

新組織の大きな特徴は、親農業時代に対応する為に、理事会の下に事務局(興相常務理事)、事業支援部(田中専務理事)、農業技術部(西出常務理事代行)を設けた事にある。日本農業の更なる健全な発

(次ページへ続く)

| 2011年の主な日程 |                                 |     |                            |
|------------|---------------------------------|-----|----------------------------|
| 1月         | ・TPP交渉参加国が関税撤廃の交渉開始             | 4月  | 戸別所得補償制度がスタート              |
|            | ・日米がTPPで事務レベル協議(中旬)             |     | 統一地方選挙                     |
|            | ・通常国会召集(下旬)                     | 5月  | IFA世界大会(5/23~25)カナダ        |
|            | ・民主党大会(13日)                     |     | 日本GAP協会総会                  |
|            | ・一般社団法人全肥商連スタート(19日)            | 6月  | 日EU EPA交渉入り?               |
|            | ・自民党大会(23日)                     |     | ・政府、EPAに向け、農業の体質強化の基本方針決定  |
| 2月         | ・タボス会議に合わせてWTO非公式閣僚会合?          |     | ・WTOドーハ・ラウンド年内妥結へモダリティー合意? |
|            | ・日豪EPA交渉第12回会合(1、2月で調整中)        |     | ・フランスでG8首脳会議               |
|            | ・WTO非公式貿易交渉委員会で交渉の進捗を点検         |     | ・フランスでG20農相会合(6~9月で調整)     |
|            | ・チリでTPP第5回拡大交渉(14~18日)          | 7月  | 全肥商連全国研修会(熊本7/7~8)         |
| 3月         | ・MAC新事務所に移転(21日業務開始)            | 8月  | 全肥商連農業技術員講習会               |
|            | ・米戸別所得補償モデル事業の変動部分の交付単価が判明(月末頃) | 9月  | 全肥商連総会                     |
|            | ・政府がEPAに向けた規制改革の具体的な方針決定        | 10月 | IFF世界大会(9/25~27)シカゴ        |
|            | ・米戸別所得補償モデル事業の変動部分支払            |     | ・政府、EPAに向け、農業の体質強化の行動計画決定  |
|            | ・10年度第2期の規制制度改革対処方針を閣議決定        | 11月 | フランスでG20首脳会合               |
|            | ・新たな食育推進基本計画を策定                 |     | IFAアジア太平洋地区会(11/2~4)       |
|            | ・農水省平成23年度予算国会通過                |     | 米国でAPEC首脳会議。米国がTPP交渉まとめ    |
|            | ・農水省が「食品産業の将来方向(仮称)」まとめ         | 12月 | WTO公式閣僚会合。ドーハ・ラウンド妥結?      |

(前ページより続く)

展に資する、質の高い肥料販売の実現の為、正会員はもとより賛助会員準会員との連携の下、市場ニーズに相應する新たな機能を備え、透明性の高い活動を目指します。加えて、理事会にて選出されました役員一同と共に、正会員の更なる事業発展に資する活動を行い、中央・地方行政との連携の下、地方の活性化にも繋がる、研修会等の機会を提供します。『新生全肥商連』のスタートに最大のエールを送りたい。

○ 新組織

・会長 上杉登(三菱商事アグリサービス(株)) / 副会長 砂押武昭(砂押アグリ(株))、立石信彦(立石商事(株))、北嶋研一(三井物産(株)) / 専務理事 田中和夫  
・常務理事代行 西出邦雄 / 事務局長 興杢欣一 / 理事 小林利光(株)丹波屋)、本多泰(三菱商事(株)) / 総務会計広報 山田めぐみ



## 本店事務所移転のお知らせ

住み慣れた湯島の土地を離れ、この度、本店事務所が移転する事になりました。移転先はエムシー・ファティコム社と同じビルの1階になります。皆様お近くにお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。

新事務所開業日：2011年2月21日(月)

新住所：東京都千代田区麹町一丁目10番地(麹町広洋ビル1階)

代表電話番号：03-5275-5511 FAX 共通：03-5275-5558

最寄駅：東京メトロ半蔵門線 / 半蔵門駅(徒歩1分) 有楽町 / 麹町駅(同5分)

各部の電話番号、移転に関する業務案内等は、次号でご案内させていただきます。

## 2011年スギ・ヒノキ花粉飛散量予想～近畿では2010年比10倍！

今年もスギ花粉の飛来時期が近づいています。ウェザーニューズが発表した予想では、2011年は2010年より全国的に大幅に増加するそうです。全国的に日照時間が長かったことと、2010年が比較的少なかったため、2011年のスギ・ヒノキ花粉の飛散量は「平年より多い」と予想されています。様々な情報を合わせると、2010年と比較して2～3倍程度の飛散量の地域から、10倍と大きく増えてしまう地域まであるそうです。

関東より北では、2010年より2倍程度から6倍ぐらい、関東と東海では2010年より7～8倍、近畿では何と10倍！中国四国では2倍～7倍、九州では2倍程度と地域差がありますが、近畿地方は特に厳しい年になりそうです。



(スギ花粉前線予測：日本気象)

### 身近な食材、お茶でセルフケア

それから花粉症でお悩みの方に紹介するのが、様々な食材の中で、花粉症にいい効果をもつと言われているのはお茶です。茶葉にはいろいろな成分が含まれています。タンニン(カテキン類)ビタミンC、テアニン(アミノ酸)、カフェイン、ポリフェノールなど。特に共通して含まれているのがカテキンとビタミンです。特に、カテキンは、アレルギーを抑える作用があると言われています。特に注目されているお茶は、「甜茶(テンチャ)」「グアバ茶(シジュウム)」「べにふうき緑茶」です。

移転に伴う引越し荷物の整理を進めている中で、10年前の忘年会の写真が出てきました。写真を見ると、皆さん若くて細くて黒くて多くて…。時が経つのは早いものだなあと実感しました。

編集局長：小田原次洋 アシスタント：助川尚子

電話：03-5802-2011/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL <http://www.mcagri.jp>